平成26年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月6日

上場会社名　株式会社シーイーシー　　上場取引所　東
コード番号　9692　URL　http://www.cec-ltd.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 柏木　茂
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　(氏名) 筒井　伸二　TEL 046-252-4111

四半期報告書提出予定日　平成25年12月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年1月期第3四半期の連結業績(平成25年2月1日～平成25年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第3四半期	30,489	3.1	1,301	10.7	1,278	15.6	701	△21.4
25年1月期第3四半期	29,558	△2.3	1,176	271.1	1,106	350.4	892	―

(注)包括利益　26年1月期第3四半期　870百万円　(7.0%)　25年1月期第3四半期　812百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年1月期第3四半期	40.25	40.17
25年1月期第3四半期	51.20	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年1月期第3四半期	34,583	20,408	57.6
25年1月期	33,978	19,838	57.2

(参考) 自己資本　26年1月期第3四半期　19,905百万円　25年1月期　19,421百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年1月期	―	10.00	―	10.00	20.00
26年1月期	―	10.00	―		
26年1月期(予想)				10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 1月期の連結業績予想(平成25年 2月 1日～平成26年 1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	3.4	2,000	16.2	1,800	10.2	1,000	△21.1	57.37

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年1月期3Q	18,800,000 株	25年1月期	18,800,000 株
② 期末自己株式数	26年1月期3Q	1,370,702 株	25年1月期	1,370,702 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年1月期3Q	17,429,298 株	25年1月期3Q	17,429,298 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報..... 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報..... 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報..... 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報..... 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項..... 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動..... 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用..... 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示..... 3
３．四半期連結財務諸表..... 4
(1) 四半期連結貸借対照表..... 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書..... 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間..... 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間..... 7
(3) 継続企業の前提に関する注記..... 8
(4) セグメント情報等..... 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記..... 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間(平成25年２月１日～平成25年10月31日)におけるわが国経済は、政府の積極的な経済・金融政策に対する期待感から円安・株高局面となり、企業の景況感も緩やかながら回復基調で推移しております。一方、新興国の成長鈍化等、海外景気の下振れリスクは解消されておらず、先行きについては楽観視できない状況にあります。

情報サービス産業におきましても、企業収益の改善に伴いIT投資が持ち直しつつありますが、依然、投資再開に慎重な企業も多く見受けられます。また、同業他社との受注競争も激しく、引き続き厳しい事業環境が継続しております。

このような状況下、当社グループにおきましては、「高品質のITで顧客の事業発展に貢献する」の経営方針のもと、「品質を作る」「品質を保証する」「品質を維持する」をキーワードとして、付加価値の高い製品・サービスの開発、営業力強化によるシェア拡大ならびに経営の効率化等に取り組んでまいりました。

その結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、スマートフォン市場の急速な事業環境変化の影響を受け、品質検証サービス事業の売上高が減少しましたが、ハードウエアのリプレース需要に伴う仕入販売の増加等により、売上高は304億８千９百万円、前年同期比９億３千万円(3.1%)の増となりました。利益面については、増収に伴う売上総利益の増加および経費削減効果により、営業利益は13億１百万円、前年同期比１億２千５百万円(10.7%)の増、経常利益は12億７千８百万円、前年同期比１億７千２百万円(15.6%)の増となりましたが、繰越欠損金の解消に伴い法人税等が増加し、四半期純利益は７億１百万円、前年同期比１億９千万円(21.4%)の減となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

当社グループは、事業内容および経営環境に関してより適切な情報を把握するため、第１四半期連結会計期間より、従来の報告セグメント「プロベック事業」、「プロフェッショナル事業」、「プロセス事業」および「プログレス事業」の４区分を「品質検証サービス」、「IT基盤サービス」、「ビジネス支援サービス」および「システム構築サービス」に変更しております。したがいまして、前年同期比較については、前年同期実績値を変更後の区分に組み替えて行っております。

（品質検証サービス）

品質検証サービス分野におきましては、一部国内スマートフォンメーカーの事業撤退・縮小の影響でエンベデッドシステム検証サービス分野の受注が大幅に減少し、売上高は26億１千万円、前年同期比３億６千３百万円(12.2%)の減、営業利益は１億５千１百万円、前年同期比１億８千３百万円の減となりました。

（IT基盤サービス）

IT基盤サービス分野におきましては、インフラ構築サービスおよびパートナー企業との協業サービスが堅調に推移したものの、運用サービス事業が伸び悩み、売上高は80億９千５百万円、前年同期比２千５百万円(0.3%)の減、営業利益は10億７千万円、前年同期比５千８百万円の減となりました。

（ビジネス支援サービス）

ビジネス支援サービス分野におきましては、ICカード認証システム売上高シェア１位(*1)を獲得した「SmartSESAME® SecurePrint！」(スマートセサミ セキュアプリント)シリーズなど、自社開発製品の販促活動に努めてまいりました。業績面につきましては、Windows XPのサポート終了に伴うハードウエアのリプレース需要等で大口の仕入販売を受注し、売上高は34億９百万円、前年同期比９億３百万円(36.1%)の増、営業利益は７千３百万円、前年同期比２千８百万円の増となりました。

（システム構築サービス）

システム構築サービス分野におきましては、より高品質・高付加価値なサービスを顧客へ提供すべく、開発品質および生産性の向上ならびに事業部間連携強化による営業力の向上などに努めてまいりました。業績面につきましては、金融業を中心に受注が堅調に推移し、売上高は163億７千４百万円、前年同期比４億１千６百万円(2.6%)の増、営業利益は22億６千９百万円、前年同期比３億１千７百万円の増となりました。

*1 株式会社ミック経済研究所が平成25年８月20日に発表した「セキュアプリントシステムの市場動向調査」において、「SmartSESAME® SecurePrint！」が2012年度ICカード認証システム売上高１位(シェア42%)を獲得しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（総資産）

総資産の残高は345億８千３百万円となり、前連結会計年度末と比べ６億４百万円の増加となりました。これは、有価証券が７億６千７百万円増加、現金及び預金が４億９千万円増加したこと、受取手形及び売掛金が３億９千６百万円減少、建物及び構築物（純額）が３億４千７百万円減少したことなどによるものです。

（負債）

負債の残高は141億７千４百万円となり、前連結会計年度末と比べ３千４百万円の増加となりました。これは賞与引当金が５億２千６百万円増加したこと、退職給付引当金が２億５千２百万円減少、短期借入金の返済により２億４千９百万円減少したことなどによるものです。

（純資産）

純資産の残高は204億８百万円となり、前連結会計年度末と比べ５億６千９百万円の増加となりました。これは、四半期純利益を７億１百万円計上したこと、その他有価証券評価差額金が１億１千２百万円増加、少数株主持分が７千２百万円増加、剰余金の配当により３億４千８百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年１月期の連結業績予想につきましては、平成25年３月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年１月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年10月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,260,120	5,750,529
受取手形及び売掛金	7,573,704	7,177,603
有価証券	327,750	1,095,257
商品	49,465	96,572
仕掛品	568,033	597,735
その他	1,171,861	1,256,640
貸倒引当金	△44,643	△9,125
流動資産合計	14,906,292	15,965,213
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,486,748	8,139,267
土地	2,512,896	2,512,896
リース資産（純額）	4,190,988	3,956,418
その他（純額）	864,234	1,088,185
有形固定資産合計	16,054,868	15,696,767
無形固定資産		
のれん	31,154	15,142
その他	543,801	463,523
無形固定資産合計	574,956	478,665
投資その他の資産		
その他	2,465,060	2,459,653
貸倒引当金	△22,432	△16,873
投資その他の資産合計	2,442,628	2,442,779
固定資産合計	19,072,453	18,618,212
資産合計	33,978,745	34,583,426

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年１月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,225,142	1,448,332
短期借入金	2,192,400	1,942,500
未払法人税等	188,166	470,131
賞与引当金	382,059	908,436
受注損失引当金	56,575	4,698
その他	2,350,350	2,220,070
流動負債合計	6,394,695	6,994,169
固定負債		
長期借入金	200,900	136,200
長期未払金	573,424	547,294
リース債務	3,960,132	3,715,049
繰延税金負債	288,473	283,584
退職給付引当金	1,646,975	1,394,656
役員退職慰労引当金	5,233	5,966
資産除去債務	1,069,979	1,097,577
固定負債合計	7,745,118	7,180,328
負債合計	14,139,814	14,174,498
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,586,000	6,586,000
資本剰余金	6,415,030	6,415,030
利益剰余金	8,316,354	8,669,269
自己株式	△1,748,969	△1,748,969
株主資本合計	19,568,415	19,921,330
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△147,342	△34,498
為替換算調整勘定	413	18,455
その他の包括利益累計額合計	△146,928	△16,043
新株予約権	―	14,092
少数株主持分	417,445	489,549
純資産合計	19,838,931	20,408,928
負債純資産合計	33,978,745	34,583,426

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成24年２月１日 至 平成24年10月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成25年２月１日 至 平成25年10月31日）
売上高	29,558,702	30,489,479
売上原価	23,788,133	24,557,895
売上総利益	5,770,568	5,931,583
販売費及び一般管理費	4,594,434	4,629,850
営業利益	1,176,134	1,301,733
営業外収益		
受取利息	517	747
受取配当金	10,334	3,639
有価証券売却益	63,174	―
有価証券評価益	―	67,590
その他	117,716	109,220
営業外収益合計	191,742	181,197
営業外費用		
支払利息	211,181	192,432
有価証券評価損	19,105	―
その他	31,558	12,175
営業外費用合計	261,844	204,607
経常利益	1,106,031	1,278,323
特別利益		
投資有価証券売却益	38,048	―
関係会社株式売却益	12,299	―
持分変動利益	―	73,419
その他	―	416
特別利益合計	50,347	73,835
特別損失		
固定資産売却損	15,462	―
固定資産除却損	97,981	20,859
投資有価証券評価損	2,468	―
割増退職金	―	89,969
その他	―	20,723
特別損失合計	115,912	131,552
税金等調整前四半期純利益	1,040,466	1,220,605
法人税、住民税及び事業税	166,483	519,928
法人税等調整額	△27,454	△37,360
法人税等合計	139,028	482,568
少数株主損益調整前四半期純利益	901,437	738,037
少数株主利益	9,123	36,536
四半期純利益	892,314	701,500

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成24年２月１日 至 平成24年10月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成25年２月１日 至 平成25年10月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	901,437	738,037
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△87,857	113,000
為替換算調整勘定	△1,059	13,146
持分法適用会社に対する持分相当額	355	5,871
その他の包括利益合計	△88,561	132,017
四半期包括利益	812,876	870,055
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	803,430	832,386
少数株主に係る四半期包括利益	9,446	37,668

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第３四半期連結累計期間（自　平成24年２月１日　至　平成24年10月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	合計
	プロベック事業	プロフェッショナル事業	プロセス事業	プログレス事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,082,332	10,205,504	2,465,628	13,805,237	29,558,702	－	29,558,702
セグメント間の内部売上高又は振替高	64,050	100,921	13,009	206,911	384,892	△384,892	－
計	3,146,383	10,306,425	2,478,638	14,012,148	29,943,595	△384,892	29,558,702
セグメント利益又は損失（△）	183,085	374,287	△185,230	788,915	1,161,057	15,076	1,176,134

（注）１　セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去15,076千円が含まれております。

２　セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第３四半期連結累計期間（自　平成25年２月１日　至　平成25年10月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	合計
	品質検証サービス	ＩＴ基盤サービス	ビジネス支援サービス	システム構築サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,610,243	8,095,161	3,409,199	16,374,874	30,489,479	－	30,489,479
セグメント間の内部売上高又は振替高	30,080	178,015	70,880	116,304	395,280	△395,280	－
計	2,640,324	8,273,176	3,480,079	16,491,178	30,884,759	△395,280	30,489,479
セグメント利益	151,911	1,070,426	73,868	2,269,324	3,565,530	△2,263,797	1,301,733

（注）１　セグメント利益の調整額△2,263,797千円は、主に報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２ 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、報告セグメントを「プロベック事業」、「プロフェッショナル事業」、「プロセス事業」および「プログレス事業」の４区分としていましたが、第１四半期連結会計期間より、事業内容および経営環境に関してより適切な情報を把握するため、事業区分を見直し、「品質検証サービス」、「IT基盤サービス」、「ビジネス支援サービス」および「システム構築サービス」に変更しております。

なお、セグメントの事業区分を変更したことによる前第３四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報は、以下のとおりであります。

前第３四半期連結累計期間（自　平成24年２月１日　至　平成24年10月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	合計
	品質検証サービス	ＩＴ基盤サービス	ビジネス支援サービス	システム構築サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,973,720	8,120,586	2,505,637	15,958,757	29,558,702	－	29,558,702
セグメント間の内部売上高又は振替高	63,582	66,189	73,428	211,800	415,001	△415,001	－
計	3,037,302	8,186,776	2,579,066	16,170,558	29,973,703	△415,001	29,558,702
セグメント利益	335,445	1,128,808	45,816	1,951,551	3,461,621	△2,285,487	1,176,134

（注）１　セグメント利益の調整額△2,285,487千円は、主に報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。